

現代倫理道德研究会（平成 30 年 6 月 6 日）発表要旨

AI に関する倫理的課題

社会科学研究室
教授 大野正英

AI（人工知能）を中心とする一連の技術開発が急速に進められており、社会の多方面に大きな影響を与えることが予想されている。AI の開発競争は急速に進められており、今後ますます加速化していくことは間違いない。人間の知的能力の分野で大きく代替が進むという点で過去の技術革新とは質的に大きく異なるため、人類がこれまでに経験したことのないような急激でかつ大規模な変化が起きることが予想され、したがってそこで生じる課題は、人間存在や社会のあり方と深く関係してくる。雇用の喪失、AI の悪用、プライバシーの侵害といった問題があるが、より本質的な問題と考えられるのが、AI の意思決定におけるブラックボックス化が指摘される状況において、人間の側がいかにして意思決定における主体性を確保していくことができるかという問題である。変化の速度が非常に大きいゆえに、早期に議論を進める必要がある。